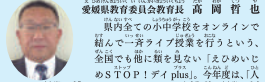


えひめの子どもたちへのメッセージ

～人よりよい関係を築くために～



愛媛県教育委員会 教育長 高橋 孝也
県内での小中学校をオンラインで
結んで一斉ライブ授業を行うという、
全国でも他に類を見ない「えひめい
じめSTOP! デイplus」。今年度は、「人
よりよい関係を築くために」をテーマに、小中学校6年生と
小学校1年生約23,000人が、この機会について熱心な参加を
しました。

ライブ授業当日は、ゲームや絵本を用いたワークショップ等
を通して、「互いの違いを認め合うことの大切さ」、いじめら
れている人により寄り添うべきか、いじめの場面に関連した
自分ごとで行動するべきか、など、いじめの場面に関連した
向き合い、みんなが前向きな気持ちで学校生活を送るための熱
心な話し合いが行われました。90分という時間で盛りだく
さんな活動が展開され、いじめの場面について、他学年の友達
や、家族など周りの大人の人と一緒に考えながらかかると
ともに、この日誌のことを自分の生活に取り入れ、いじめ
のない学校、学校づくりに向けて取り組んでいくことと期
しています。

さて、本年度から、県内の公立小中学校で、小学校6年生から
中学校3年生を対象に、1人1台端末を活用して、人よりよ
い関係を築く力を伸ばしていくための「ジャンミカタプロ
グラム」の運用がスタートしますが、この「ジャンミカタ」とい
う言葉には、次のような意味を込めています。

自分が誰かの味方（ミカタ）になる
自分の味方（ミカタ）を増やす
自分が自分の味方（ミカタ）になる
自分や人の見方（ミカタ）を振り返る

今回のライブ授業でも、「自分を知ることは大事」「自分と大
切にできる人は他人も大切である」といったメッセージがありま
した。今後、このプログラムも活用しながら、自分や人のミ
カタを見つけたいと思っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが安心して毎日を送って
いくためには、家族や周囲の大人たちの理解とサポート、地域
社会全体で人権を尊重する姿勢が大切です。目標が子ども
たちの様子に目を配り、声にならない声に耳を傾けることで、
健全な成長を支えていただきますようお願いいたします。

最後に、本事業の開催に当たり、御理解と御協力をいただき
た皆様へ、心から感謝申し上げます。

相談窓口

いじめ相談ダイヤル24
ひょうりょうなやま
ひょうりょうなやま
ひょうりょうなやま
0120-0-78310
毎火曜～毎木曜
9時～17時

愛媛大学教育学部の学生から



会場にいる児童生徒だけでなく、オンラインでつながった愛
媛県内の児童生徒が全員で一つのテーマについて考えを共有す
る様子も印象に残りました。みんながよりよい人間関係の築き
方について考えを認め合いながら、私たちが自分自身でもよりよ
い人間関係を築くための大切さを認識することができました。
今回のライブ授業に出た意見を、それぞれが学校で取り組
む。一人ひとりの個性を尊重したうえで自分の学校で実践し
たい。児童生徒の皆さんは今回のライブ授業で学んだこと
を大切にしてください。皆さんも今回の授業で学んだことをもと
に自分なりの実践に取り組めるよう励みます。

来年度は来年度から
発着します！！
ライブ授業は、男子の中学校
センター校として「えひめい
じめSTOP! デイplus」を開催し

愛媛県教育委員会
人権教育課
2025年(令和7年)
2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞

小中学生
約23,000人が参加
えひめいじめSTOP! デイplus
11月21日
11月22日

人とよりよい関係を築くために
県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP! デイplus開催!
今年6月11日(木)、松前県文化センターをメイン会場に、県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP! デイplus」が開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、「人とよりよい関係を築くために」をテーマに話し合い、学び、考えを深めました。
ライブ授業の前半では、ワークショップを通して、自分にとっての普通は他人にとっては普通ではないことを学びました。「カバン持ちゲーム」ではセンター校が代表として実践し、登場人物の行動について全員で考え話し合いました。「友達が増えるかな」にすることで気付くことができるといったようにしたい」など、登場人物の立場でどのように行動したらいいのかについて多様な意見が交わされました。授業の中間には、ゲストのライセンス繪本—繪本さんが作った繪本「グロはいっちゃったよ」の絵巻の巻、藤原さんと井田いじめへの対応策について話し合いました。ライブ授業を通して、自分大切に守ること、辛い思いをしてる人を見てあげ、守り抜くことの大切さについて意見が交わされました。授業の後半には、人間関係学の伊藤義徳先生から説明があり、よりよい人間関係を築くために必要なことについて話し合いました。そして、自分や周りの人のことをよく知ること、いじめの起こりにくく学校づくりについて考えることができました。

事前授業

センター校・リモート校では、愛媛県教育委員会による事前授業を実施し、「いじめはなぜ起こるのだろう」をテーマに考えました。



リモート校



事前授業の感想

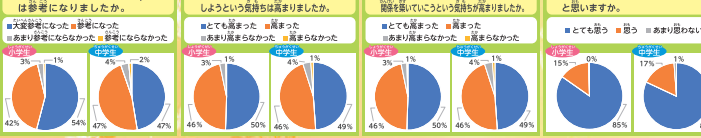
- 人には、その人の「個性」がある。それが違うからと言って、いじったり、からかったり、バカにするのはいけない。みんなの違いを尊重して生活していけばいいと思います。
- いじめが起る原因は、人との間隔、いじめられている人の自信がないなど様々な理由があることを知りました。
- 普段の生活でいじりあったり、相手の気持ちをよく考えたり、いじめが起る原因、反省し直さなければならなかったら、これからは相手の気持ちを尊重し、互いの気持ちを理解しなければいけないと思いました。

ゲームを通して ライブ授業当日

ゲーム1 【好きなお寿司のネタ】教えて・自己決断に何にかけて食べる？
ゲームを通して、人はいろいろな考え方や考えがあること、それには、正解不正解などというものを学びました。そして、互いの個性を尊重し、認め合いながら生活することの大切さをみんなで確認しました。
この絵本の大切なキーワード「グロ」について藤原さんに見てもらったよ
グロ 自分の中の嫌だったことや、受け入れられない感情を言葉で表現。
クスリ 人の心やしなるもの、あるといたいと思うものをクスリという言葉で表現。
もしいじめを受けたら、その状況から選んでほしいけど大丈夫ですかあかん
【読み聞かせを聞いて考えたこと】
・主人公のような経験をしている友達に出会った助けたい、自分がいじりかたから、賢く賢くできる人に相談したい、大事になる前に、早めに」と言う。
【ライブ授業後の感想】
○ 「グロはいっちゃったよ」を聞いてからは、つらいことがあると、繪巻の「グロ」のように感じられることもあった。周りの人は実行されていることもあるかなと思いました。そのため、周りの子が苦しい思いをしていないかと心配したり、友達に自分もいじめをしたらいいように行動したいと思っています。そして、人によって考え方は違うので、しっかりと受けたいです。
○ 藤原さんの書いてある絵巻の意味が分からなかったけど、藤原さんの書いてあるように、伝えたいことが分かってきた。「誰かがいじめたいからあかん」という言葉がすごく心に響きました。これからは、自分もいじめたい人の子供には、勇気を出して助けてあげたいと思いました。
○ 「グロはいっちゃったよ」を初めて聞いて、いじめをされて、泣いたり、苦しいとは思った。グロと表現していることに驚きました。いじめられている子がいるんだから、その人を助けてあげよう」と言うことが楽しい学校生活につながる。
○ 「カバン持ちゲーム」をすることで自分よくない。

ゲーム2 【カバン持ちゲーム】
4人での陣取り、じゃんけんに負けた人が他の人のカバンを次の電柱まで運ぶカバン持ちゲームを通して、いじめについて考えました。【陣取り競争、交際のじゃんけんが行われます。】その後、4人それぞれ立場でできるとことを考えました。
【カバン持ちゲームを通して話し合ったこと】
○ 陣取り競争、じゃんけんに負けた人が他の人のカバンを次の電柱まで運ぶカバン持ちゲームを通して、いじめについて考えました。【陣取り競争、交際のじゃんけんが行われます。】その後、4人それぞれ立場でできるとことを考えました。
○ 「グロはいっちゃったよ」を初めて聞いて、いじめをされて、泣いたり、苦しいとは思った。グロと表現していることに驚きました。いじめられている子がいるんだから、その人を助けてあげよう」と言うことが楽しい学校生活につながる。
○ 「カバン持ちゲーム」をすることで自分よくない。

ライブ授業後のアンケート



講師から

ライセンス 藤原一裕さん
小中学生の話し合いワークショップの様子を振り返りながら、「個性を認め合うことが大切」と提案されました。自分と違う人に出会った時、「あなた」というのではなく、「面白い」と受け取ることで人と仲良くなるかもしれないと、広い視野をもって人と関わることの大切さをみんなに伝えました。
いじめの場面に関連して向き合う人々に「いじめを受けている子は、いろんな気持ちがあって、そこから逃げ出せなくなるかもしれない。だからいじめを受けている子に寄りかかると、そこから逃げ出す衝動を抑えてほしい」と、アドバイスがありました。また、「自分にも周りの人にも優しくしてほしい」とエールを送りました。

ライブ授業後の「保護者アンケート」 いじめをなくするために、お子さんたちにに向けて一言
・人それぞれの個性を尊重し、思いやりの心をもち、よりよい人間関係を築いてほしい。
・物事の善悪は理解できても、それを実行し、よりよい行動を取ることは難しいことだと思うので、勇気をもって踏み出してほしい。
・助けを求めることは恥ずかしいことではない。自分の心をもっと大切にしてほしい。
・「考え」ことを忘れず、楽しく生きてほしい。
・「世界は自分自身で思いやりよく創り出し、価値観はそう簡単にはなくならない」ということを伝えたい。

「ジャンミカタプログラム」がはじまるよ

「アンケート」で答えた結果、取ってくださるアクションを実行することで、自分の生活がよくなる可能性がある。自分よりよい人間関係を築くために、「えひめいじめSTOP! デイplus」に参加した友達から、このような感想が寄せられました。

「えひめいじめSTOP! デイplus」で、ジャンミカタプログラムを先に体験した友達から、このような感想が寄せられました。

「えひめいじめSTOP! デイplus」で、ジャンミカタプログラムを先に体験した友達から、このような感想が寄せられました。

よいアクションを積み重ねよう！
よい人間関係を築くために自分ができること
・個性を尊重し、違いを否定しない態度で接する。
・よいこととよくないことをしっかりと区別してから行動する。
・自分よりよいアクションを促す。
・本音を伝える。
・人の意見を一度受け入れて、考えてから行動する。
・いろいろな人と話をし、違いを認め合う。
・自分を大切に、誇りに感じられる。

このプログラムには、教育委員会や大学だけでなく、みなさんのことを大切に思ってくれる大人たちの「願い」が込められています。この取組を通して、「一人ひとりが人よりよい人間関係を築くための力を伸ばし、安心して生活できる環境を築き、いじめのない明るい未来を送ることができるようになることを目指しています。

Q えひめいじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいじめはめんどくさいと思いませんか？

学年	めんどくさいと思いませんか？	めんどくさいと思いませんか？
小学校	40%	60%
中学校	38%	62%

Q えひめいじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいじめはめんどくさいと思いませんか？

学年	めんどくさいと思いませんか？	めんどくさいと思いませんか？
小学校	40%	60%
中学校	38%	62%